

2016年1月15日

## 常磐線大甕駅仮駅舎供用開始について

日立市は、大甕駅周辺において、交通の利便性を生かし高度な土地利用に努めることとして、2012年3月に「大甕駅周辺地区整備計画」を策定し、自由通路整備による東西市街地の一体化等の方針を掲げ整備を推進しています。

日立市とJR東日本水戸支社で、常磐線大甕駅舎の改築、駅の東西をつなぐ自由通路の新設について2015年6月に協定を締結、9月に着工しました。

今後の自由通路建設に先立ち、2016年2月6日（土）より仮駅舎の供用を開始しますので、お知らせいたします。

### 1 仮駅舎の概要

【鉄道施設】 鉄骨造地上2階 約529㎡

主要設備：コンコース、旅客トイレ（男女トイレ内簡易型多機能便房各1箇所）  
店舗（NewDays）、駅事務室

### 2 地域事業との協働

現在、日立市で進めている「バス高速輸送システム（BRT）」事業とあわせ、大甕駅が地域の顔となり、市民・お客様が様々な繋がりを感じ、そして育めるような駅を目指します。

### 3 今後の予定

2016年2月6日 仮駅舎供用開始

3月上旬～既存駅舎取り壊し、自由通路・新駅舎建設

2018年頃 自由通路・新駅舎供用開始予定

### 4 自由通路・新駅舎の概要

【鉄道施設】 施設計画 地上1階、地下1階 約945㎡

主要設備 コンコース、旅客トイレ、多機能トイレ、待合室、店舗

上りホーム：階段1箇所、エレベーター1基

下りホーム：階段1箇所、エレベーター1基

【都市施設】 施設計画 幅員 約5.5m 延長 約81m

主要設備 自由通路

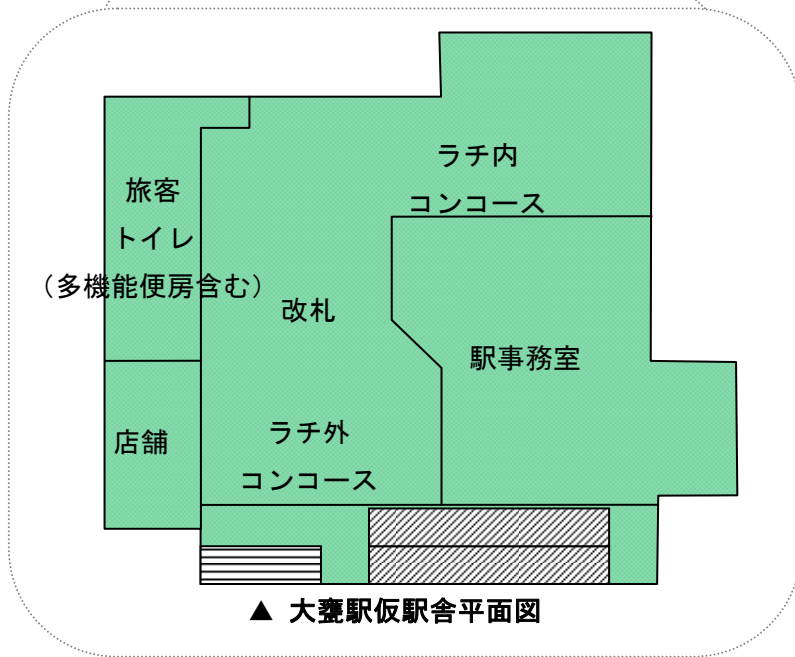
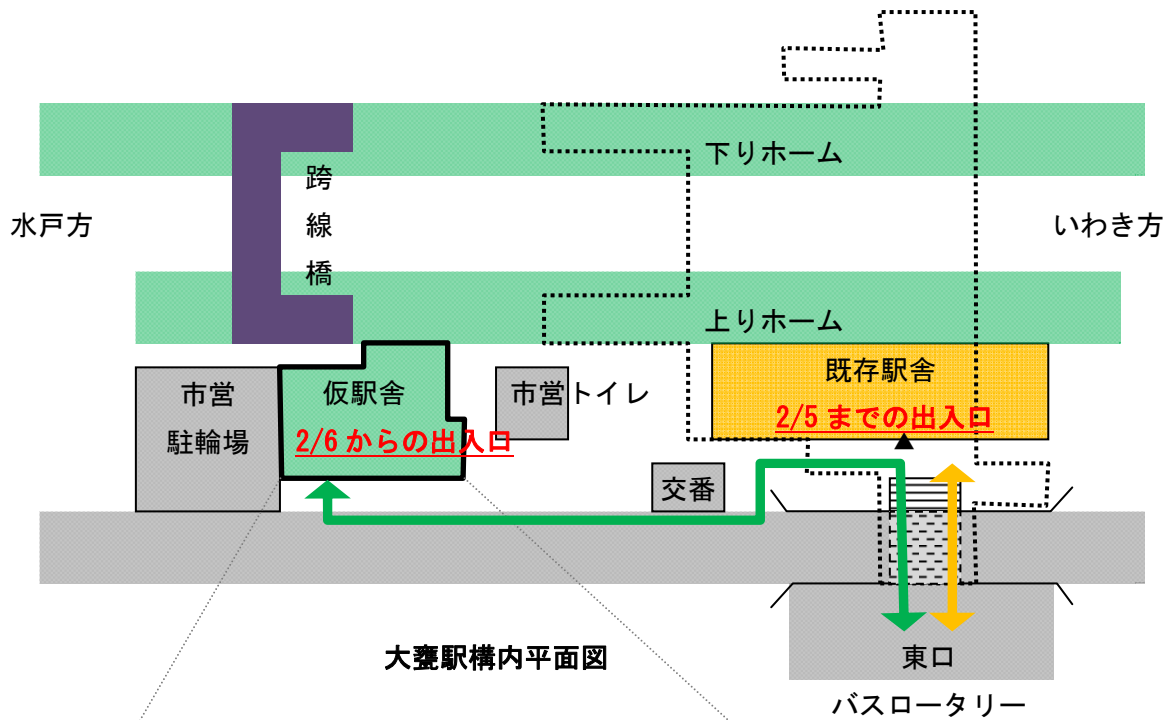
東口駅前広場：階段3箇所、エレベーター1基

西口駅前広場：階段2箇所、エレベーター1基

### 5 事業主

日立市

東日本旅客鉄道株式会社 水戸支社



- 【凡例】
- 既存駅舎
  - 自由通路・新駅舎
  - 仮駅舎範囲
  - 階段
  - スロープ
  - 出入口 ▲
  - お客さま動線
  - 既存駅舎へ
  - 仮駅舎へ



大壺駅構内 いわき方より (2016年1月時点)